

## 設問B

メッシュマップは、地表面に一定の間隔の方眼線をかけ、各方眼の区域(メッシュ)ごとに土地の情報を示した地図である。コンピュータで扱いやすいため、地理情報システム(GIS)で使われる地図の代表的な形式の一つになっている。図1—3は、ある地域(地域X)の標高の分布をメッシュマップで示したものである。各メッシュに示された値はメッシュ内の平均標高(単位はm)である。図1—4は地域Xにおける人口の分布のメッシュマップで、各メッシュにおける人口が100人単位で示されている。両図の各メッシュの大きさは縦横ともに500mであり、方位は上が北である。

- (1) 地域Xには、海面、沖積低地、台地、山地、比較的大きな河川がある。これらの要素が地域の中でどこに分布しているかを3行以内で述べなさい。記述の際には他地域に関する次の例を参考にしなさい。「地域の中央に湖があり、北東部には扇状地がある。また、北西部から南西部にかけて深い峡谷があり、その底を河川が南に向かって流れている」。
- (2) 図1—4に示された人口の数値を用いて、地域Xの人口密度を算出し、単位をつけて答えなさい。有効数字は3桁とする。
- (3) 図1—3と図1—4に基づき、地域Xの人口の分布が地形にどのように影響されているかを、2行以内で述べなさい。

319	298	254	233	99	38
247	202	198	153	18	178
98	123	42	13	144	255
28	15	6	18	163	232
5	2	6	32	176	243
0	1	3	29	155	221

標高(m)

図 1—3

0	0	0	0	2	1
0	0	1	2	1	2
1	2	3	2	2	0
3	5	2	5	1	0
6	2	10	3	1	0
0	1	4	3	0	0

人口(×100人)

図 1—4